

	静岡大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:215） 大学院理学研究科（M:70） 大学院自然科学系教育部（D:50）
沿 革	大正11（1922）年 静岡高等学校創立 昭和24（1949）年 新制静岡大学文理学部設置 昭和40（1965）年 理学部設置（改組） 昭和51（1976）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成8（1996）年 大学院理工学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 （理学研究科は学生募集を停止） 平成18（2006）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成18（2006）年 大学院自然科学系教育部博士課程設置 （理工学研究科は学生募集を停止）
設置目的等	<p>大正11年、静岡大学文理学部の母体である静岡高等学校は、高等教育機関の拡張を目的として設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、静岡高等学校は、静岡大学文理学部として承継された。</p> <p>昭和40年、教育・研究の一層の充実・発展を図ることを目的に、文理学部を改組し、人文学部及び理学部が設置された。</p> <p>昭和51年、数学及び自然科学の基礎的分野における社会の複雑な進歩に柔軟に対処できる研究能力と幅広い基礎的な学識とを身につけた高度の技術者及び教育者を養成する目的から、理学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成8年、理学分野の深遠かつ広範囲にわたる科学の法則・原理と工学分野の精密かつ高度な先端技術を融合し、先駆的で豊かな発想を誘出させ、学際的で高度な教育と研究を行い、将来の課題に対処し得る人材を育成することを目的に、理学研究科修士課程及び理工学研究科修士課程を改組し、理工学研究科博士課程（博士前期課程・博士後期課程）が設置された。</p> <p>平成18年、時代に即応した幅広い素養と特化した専門知識及び国際性豊かな知識を有する先端技術者及び研究者の養成を目的として、電子科学研究科博士課程（後期3年のみの課程）及び理工学研究科博士後期課程を改組し、自然科学系教育部博士課程（後期3年のみの課程）</p>

	<p>が設置された。</p> <p>平成18年、理工学研究科博士後期課程を自然科学系教育部に再編したことに伴う理工学研究科博士前期課程の改組により、理学研究科修士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>静岡大学は、科学的真理を知的好奇心から探求し、その基礎概念の創出と確立を進め、更に環境保全や最先端科学技術等の応用分野に基礎的情報をもたらすとともに、次の時代の科学・技術及びその教育を担う人材の育成を通じて人類社会の発展や文化の進展に貢献することを目指し、教育、研究、社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 真理を探究する理学の精神を身につけ、基礎科学の各分野における深い学識とそれに基づいた問題解決能力、更にコミュニケーション能力と国際感覚を備え、グローバルな観点からリーダーシップを發揮できる高度な専門人材の育成の役割を果たす。 <p>環境・エネルギー、バイオサイエンスなどの専門領域に関する深い知識と時代に対応した幅広い素養を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる高度先端技術者及び研究者の人材育成の役割を充実する。</p> ○ 学生の多様なニーズ・社会の要請等に応え得るユニークな学部・研究科横断等の教育や大学間連携教育による複眼的な視野を養う特色ある教育改革、アジアの生態系保全に関するリーダー育成プログラムでの実績を生かし、グローバルに活躍できる人材を育成する学部・大学院教育を目指して改善充実を図る。 ○ 放射性核種や安定同位体の原子核化学に関する特徴ある研究や化学分野における新規機能性物質創成・物性解明、生物科学分野における生物の環境応答、地球科学分野における地殻・マントル変動に関する高い水準の研究をはじめ、理学の諸分野の研究を推進し、我が国における理学の発展に寄与する。 ○ 静岡県内を中心とした企業・自治体等との環境技術などに関連する産官学連携の実施、自治体等審議会における委員活動による専門的知識の提供・提案、市民のための基礎科学講座（サイエンス・カフェ in 静岡等）の開催など、地域に貢献してきたこれまでの実績を生かし、産業振興や地域振興に貢献する。 ○ 社会人教育は大学院への受け入れ、「ふじのくに防災フェロー養

	<p>成講座」の実績を生かし、地域の特性、産業界のニーズに対応した人材養成のための学び直しを推進する。</p> <p>○ 未来の科学者養成講座など、静岡県内における小中高生の理数教育の支援を推進してきたこれまでの実績を生かし、未来の科学技術を担う人材の育成に寄与する。</p>
--	--